



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算2852回 第2例会
2015年7月10日
毎週金曜日

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

2015-2016年度 R | 会長
K.R.「ラビ」ラビンドラン

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎@2171

例会場 事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎@6665 ☎@6505

[URL] <http://hrc.mond.jp/>

[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2015-2016年度 人吉ロータリークラブテーマ

ロータリーの贈り物を届けよう

—まずは自分自身に
そして周りの人達に—

本日の進行 (目次)

- ・会長の時間 P1
- ・幹事報告 P2
- ・前幹事へ記念品・花束贈呈 P2
- ・来訪者挨拶 P3
- ・ニコニコ箱R財米山カード P3
- 〜クラブ協議会〜本田ガバナー補佐 P3~6

点 鐘

延岡研一 会長

歌 唱

ソングリーダー 石蔵尚之 委員長

国 歌「君が代」

R S「奉仕の理想」

司会・進行

戸高プロダム 副委員長

来訪者紹介

延岡研一 会長

芦北RC

本田 泰生 ガバナー補佐
白坂 長一 会長
鶴野 信雄 幹事

会長の時間

会長 延岡研一



本田ガバナー補佐、芦北RC白坂会長、鶴野幹事、ようこそおいで下さいました。

今日は所信を述べさせていただきます。人吉RCの本年度スローガンは「ロータリーの贈り物を

届けよう —まずは自分自身に— そして周りの人達に—」です。RIテーマ、地区スローガンに沿う形で私なりに考えました。

ラビンドランRI会長が所信の中で、「私たちが求める友人とは、自分にはないものを持っている人、自分のいいところを引き出してくれる人です。ロータリーがその特徴を備えています。ロータリーは、私たちの資質を引き出し、それを人生で生かす道を見つけてくれます。」と述べていま

す。地区スローガンにも通じるものがあります。

会員それぞれの資質を引き出し、それを生かす道を見つけながら「贈り物」を届けていきたいと思ひます。

まずは例会です。品性を保った中で親睦を深められる例会とし、みんなの興味を引く卓話を担当する委員会と模索していきながら、楽しい例会、為になる例会、待ち遠しい例会になるよう心掛けていきたいと思ひます。

次に、例会やクラブの事業は元より、地区大会、各種セミナー、各クラブの周年行事、姉妹・友好クラブとの交流事業等への積極的な参加です。特に地区大会については、我がクラブは伝統的に参加率が高く、本年度は熊本開催でもあり、家族も一緒に多く参加していただき、ここから創立60周年に向けての行き足をつけたと思っています。また、本年度は地区内の8クラブで周年事業が行われます。創立60周年に向けて、一定の会員の負担増にならないように、各会員がいずれかの周年事業へ参加をしていただければと思ひます。

そして、各委員会への取り組みです。ほとんどの会員が委員長若しくは副委員長になっています。特に前年度入会の会員の皆さんには私からの「贈り物」として何れかの委員長、副委員長に就いてもらっています。各委員会は、委員長を中心に副委員長がまとめ役となり、本年度の取り組みを家庭集会でじっくりと練り、具現実行していただきたいと思ひます。その中で、自分への、会員への、そして家族や職場や地域の周りの人達への「贈り物」という意識を持って取り組んでいただければと思ひます。

また、会員親睦にとって最も大切な夜の親睦活動ですが、例年の5大親睦に加えて本年度は、9月に月見例会を、4月に花見例会を計画します。親睦委員会にはお世話になりますがよろしくお願ひします。なお、8月の納涼家族会と1月の新年会は会員ご家族への「贈り物」としてご招待して頂きますようお願ひします。

当年度は人吉ローターアクト創立40周年になります。担当委員会のおかげで会員も増えて、活動も活発になってきている中での40周年です。例会の充実も図られており、2月に開催する40周年事業の成功に向けてクラブを挙げて応援していきましょう。

最後に、本年度私が最も力を注ぎたい事業について述べたいと思います。

クラブとして、R財団地区資金を活用しての初めての事業になります「知的障害者陸上競技大会(11月1日、予備日11月3日)」の開催です。

会員の皆さん、そして知的障害者をはじめ参加してくれる地域の皆さんへのロータリーからの「贈り物」です。

ある縁があって、昨年から知的障害者の人達やその家族の方々と交流するようになりました。スペシャルオリンピックス(SO)という団体です。みんな無邪気で、家族を含めて周りの方々がとても温かく見守っています。

本事業の目的は、「地域で生活する知的障害者が、競技会に参加し表彰を受賞することにより、生きがいや遣り甲斐を感じるとともに、ロータリアンや地域の人達と交流を図る」事としています。SOの認知度が上がり、スポーツを通じて知的障害者とその家族、そして地域のみんなとの輪が広がり、知的障害者が地域のみんなと一緒に生き生きとした日常生活を送る第一歩になればとの思いから計画しました。

地区補助金活用の留意事項として、「特定の人や団体などに対する継続的または過度の支援でない事」とありますので、いつまでも継続していける事業ではありませんが、クラブとしてこの日を「ロータリーデー」と定めて当地区第6グループの各クラブにも声を掛けてグループを挙げて盛り上げていきたいと思っています。

縷々、具体的な取り組みも含めた所信を述べましたが、色んな人達に色んな形で「贈り物」が届けられるよう頑張りましょう。そして、歴史と伝統ある人吉ロータリークラブの創立60周年に向けて更に一歩前を進みましょう。

幹事報告

幹事 水野虎彦



【理事会の承認事項】

先週の幹事報告で1議案もれておりましたのでご報告致します。新会員候補の件、7月1日、会員候補者の推薦状が届きました。理事会に諮りましたところ全員一致で受理されましたので、職業分類委員会・会員選考委員会の両委員長に審査をお願いしております。

【連絡事項】

- ・国際ロータリー第2720地区R財団委員会より、地区補助金承認連絡書が届きました。承認プロジェクト名：知的障がい者陸上競技大会補助金

金額：2,119^千円=118円=250,042円

→中川社会奉仕委員長へお渡し致します。

- ・国際ロータリー第2720地区野田ガバナーよりガバナーノミニー・デジグネート候補者推薦について文書が届いております。ガバナーノミニー・デジグネート(永田壮一ガバナーノミニーの次の方)推薦期限は本年の9月11日です。推薦される方がいらっしゃいましたら私幹事までお知らせお願い致します。
 - ・荒尾ロータリークラブより、新役員・理事の挨拶状が届いております。
 - ・第2720地区ロータリーの友の委員より、「一クラブ一つの投稿のお願い・ロータリーの友委員会方針・ロータリーの友出版物一覧・こんな経歴のロータリアンはいませんか?情報募集・自然災害に備えて独自のシステムを持つクラブ情報募集が届いております。→竹長雑誌委員長・塚本広報委員長へお渡し致します。
 - ・R I 認証ロータリー囲碁同好会より、第14回ロータリー全国囲碁大会のご案内が届いております。日時は10月3日土曜、東京市ヶ谷の日本棋院会館本院にて10時開会です。登録料は7,000円です。お申し込みは幹事までお願いします。
 - ・第13回日韓親善実行委員会より第13回日韓親善会議開催のご案内が届きました。9月4日、東京都港区グランドプリンスホテル新高輪、13時～、登録料は15,000円です。ガバナー事務所で取りまとめられますので参加希望の方は幹事までお申し出下さい
- 本年度の「栞」を作成するのあたり、会員の皆様のご住所、お電話番号、会社名、役職など、前年度の「栞」の名簿を各位でご覧になって、変わっておられる方がいらっしゃいましたら幹事までお知らせ下さい。
- 【回覧物】
- ・西天草ロータリークラブより創立40周年の記念誌「波濤千里」が届いております。また、先週も申し上げましたが、宇城ロータリークラブ創立10周年の記念誌。こちらは、村田会員のお写真が載っております。
 - ・前年度国際ロータリー第2720地区創造的奉仕プロジェクト部門のアンケート集が届きました。
 - ・JCHO人吉医療センターより広報誌「翔」
- 【例会変更・取り止め】 ございません。



前年度 有馬宏昭 幹事へ感謝の記念品と花束の贈呈

新年度ご挨拶



員増強に力を入れていきます。一年間宜しく願い申し上げます。

【ニコニコ箱委員会】 委員長 永尾禎規

- ・熊本第6グループ本田泰生ガバナー補佐
貴クラブを久しぶりに訪ねて ガバナー補佐としてこの一年宜しく願います。
- ・芦北RC白坂会長・鶴野幹事 就任あいさつです。
- ・伊久美会員 本田ガバナー補佐のご来訪を歓迎します。
- ・水野幹事 本田ガバナー補佐、白坂会長・鶴野幹事、ようこそお出でいただきました。
- ・延岡会長 本田ガバナー補佐、芦北RC白坂会長、鶴野幹事、ようこそお出で下さいました。一年間宜しく願います。
- ・小林清市会員 延岡年度の無事を祈っております。水野幹事頑張ってください。

【R財団委員会】

- ・葉山会員 本田ガバナー補佐、白坂会長、鶴野幹事、ようこそお出で頂きありがとうございました。来週お邪魔しますので宜しく願います。
- ・延岡会長 同上

【米山記念奨学委員会】

- ・伊久美会員 今年も毎例会米山特別寄付をいたします。
- ・葉山会員 同上
- ・中川会員 本田ガバナー補佐、白坂会長、鶴野幹事、ようこそお出で下さいました。

点 鐘 延岡研一会長

第1回クラブ協議会 前半



本田泰生ガバナー補佐
本年度ガバナー補佐を仰せつかりました芦北ロータリークラブの本田泰生(ヒロ)と申します。ロータリー歴は38年、職業分類は家具小売業です。この一年どうか宜しく願います。

2015～2016年度、スリランカ出身のK. R. “ラビ” ラビンドラン国際ロータリー会長は「世界へのプレゼントになろう」と掲げられ、第2720地区野田三郎ガバナーは「ロータリー活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」と掲げられました。平た

く言えば、皆様が人吉ロータリーから国際ロータリーから受けるのではなく、一人一人が各奉仕や会員増強、ロータリー財団など一歩一歩行動すると同時に与えることによって、クラブの活性化につながり、ひいては第6グループ、2720地区、日本、世界へと波及し、世界のプレゼントになると信じています。

野田ガバナーは、疑問点をラビンドラン会長のスリランカまで訪ねて行かれ、田中作次元国際ロータリー会長にもメールでやり取りされています。公式訪問は第2720地区74クラブの3分の2を単独でまわられ3分の1は時間の都合上合同でされます。ガバナーの姿を見ていますと行動派で熱心極まりなく人とのふれあいを大切にされますので、どうかそれに答えようではありませんか。

最後に、延岡会長水野幹事のもと、一致団結して事に当たられますよう、更なるロータリークラブの発展を願うものです。質問事項等ありましたら野田ガバナーを通してお答えします。ありがとうございました。

【人吉RC戦略計画委員会】

委員長) 本田 節 副) 葉山稔洋

委員) 片岡啓一・中川貴夫・伊久美寛志

浅野 強・北昌二郎・石蔵尚之・鳥井正徳

1. 方針
 - ①クラブへのサポートと強化→会員維持と増強
 - ②人道的奉仕活動の活発化
→青少年プログラムへの持続的奉仕
→ローターアクトクラブの会員増強と40周年記念事業を支援する
 - ③公共イメージと認知度の向上→メディアとの連携により、奉仕活動の広報を充実する
 - ④地区管理運営の効率化
→クラブ管理運営の効率化
- 以上をふまえて、下記事項に重点を置いて取り組んでいきたい。

- ①財政全般に関する事項→限りある財政の中での有効活用
 - ②ロータリー歴の浅い会員へのサポートと親睦
 - ③次年度60周年に向けての団結と、具体的実践の計画策定
 - ④各委員会との密接かつ信頼ある相談役
2. 計画
 - ・定期的(月1回)な委員会の開催
 - ・必要に応じ、随時の開催
 3. 予算10,000円(委員会費)

【クラブ管理運営委員会】

委員長) 本田 節 副) 葉山稔洋

委員) 片岡啓一・原田知一郎・石蔵尚之

永尾禎規・漆野智康・北昌二郎・川越公弘

堤 脩・塚本哲也・竹長一幸・青木一幸

《方針》2015～2016年度

RIテーマ「世界へのプレゼントになろう」

第2720地区クラブ管理運営部門のスローガン

「出席率向上を通して、自己の成長に繋げる」

第59代会長 延岡研一氏のスローガン

「ロータリーの贈り物を届けよう」

～まずは自分自身に、そして周りの人達に～
上記のスローガンを達成させるためにはまず、クラブ管理部門の出席、親睦、SAA、プログラム、ニコニコの委員会、5つの委員会が、別々に機能するのではなく綿密に連携することにより、例会がより充実した楽しいものとなり、クラブの管理運営がスムーズにいく原動力となります。

地区のスローガンでもある、出席率を向上させるためには例会プログラムの組み方が重要であり、また会員同士の親睦を深め、品格のある例会を目指し、ロータリークラブの素晴らしさと魅了に気づくことが重要であると考えます。また、この5つの委員会と共に、会員増強、奉仕プロジェクト、青少年、ロータリー財団の各委員会とも連携を強めていくことがよりスムーズに管理運営がなされて、R Iテーマやスローガンの達成が出来るものと思います。

1. 出席率を向上させるためには
精神性→会員相互の信頼と友情を育む。
職業奉仕の倫理性に「ロータリーの目的」と「四つのテスト」があり、より深く理解し、行動を起こすことが大切である。

世界性→200カ国に120万人の会員がいること
組織性→規則的な例会を開催し、地域社会のニーズに対応できる組織として変化し、110年間継続していること

以上の3つの魅力に会員一人一人が再認識することが大切であると考えます。

2. 自己を成長させるためには
・基本は例会に出席すること。
・中核となる価値観（奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ）が必要である
・使命感→ロータリー精神を学び、人格を高め「入って学び、出でて奉仕する」超我の奉仕が大切である。

以上のことを肝に銘じ、クラブ全ての委員会との連携を図り、クラブ管理運営委員会会長として、まだまだ未熟ではありますが、皆様方のご協力のもと3つのワーク、ネットワーク（連携）、チームワーク（和・輪）、フットワーク（実践）を大切に、創立60周年に向けて充実したクラブ管理・運営が出来ますよう会員の皆様のご指導の程、宜しくお願い致します。

【R情報委員会】

委員長) 片岡啓一 副) 宮山 惇

委員) 中川貴夫・浅野 強・鳥井正徳

1. 方針
 - ・ロータリーの会員に対して、ロータリーの歴史、目的、活動、そして国際ロータリーなどの情報提供を行う。
 - ・会員並びに会員候補者に、ロータリークラブ会員の特典、責務に関する情報を提供して、理解と認識を深めるよう努める。

2. 計画

- ・会員候補者に対するオリエンテーションを行う。担当 片岡啓一
 - ・新会員が早くロータリーに溶け込めるよう援助する会員を1名指名する。担当片岡啓一
 - ・3年未満の新会員の為の情報集会を行う。
(第6グループの新会員を対象として)
担当 鳥井正徳会員
 - ・2月担当中川貴夫会員
 - ・会報へR情報の掲載(担当浅野強会員)
3. 予算60,000円(資料代・委員会費・会員の菜、第6グループ新入会員情報集会諸費)

【親睦委員会】

委員長) 原田知一郎 副) 馬場貞至

委員) 安達玄一・有馬宏昭・井手富浩

1. 方針
5大親睦事業と月見例会・花見例会を通して、会員相互の友情と親睦が深まる企画を提案してまいります。また、人吉ロータリークラブ躍進の一助となるよう委員会が結集して挑みます。

2. 計画

- ① 親睦活動
 - 7月3日 新旧役員歓送迎会(担当 原田)
 - 8月21日 納涼家族会(担当 馬場・安達)
 - 9月25日 月見例会(担当 井手・原田)
 - 12月18日 忘年会(担当 安達・有馬)
 - 1月8日 新年会(担当 馬場・井手)
 - 4月1日 花見例会(担当 有馬・原田)
 - 6月3日 賀寿会(担当 原田)
 - ② 誕生・結婚祝(毎月)委員全員でお祝いする
 - ③ 夫人の集い 会長・幹事夫人
3. 予算2,130,000円
(委員会費・5大親睦活動費・誕生結婚記念日祝品・夫人の集い費・予備費)

【SAA】

委員長) 石蔵尚之 副) 田上明仁

委員) 中村太郎・内藤靖雄・春木久江・和田栄司

1. 方針
まず例会の「品位」を保つこと、そして例会がスムーズに進行するための配慮を欠かさないこと。この2点を柱として例会の会場監督、設営に取り組みます。人吉ロータリークラブの品格を保ちながら、会長方針にも掲げられているところの楽しい例会、ためになる例会、待ち遠しい例会が、滞りなく開催されるように準備し、席の配置や来訪者対応などにも思いやりと気配りを忘れずに取り組んで参ります。信頼と友情の絆を深め、奉仕の学びの場である例会の、縁の下の力持ちとなるよう努力いたしますので、皆様のご指導とご理解を宜しくお願い致します。
2. 計画
① 例会開始45分前に集合。設営にあたっては会長、幹事、プログラム委員長、事務局との打ち合わせを忘れずに行う。

②席の配置に配慮する。慣れ親しんでもらうため新会員は援助会員と同席に。来訪者と同業種、関連職業の会員を配置し情報交換の場に。先輩会員と新会員とのバランス良い配置で親睦と学びの場に。その他、きめ細かな席替えを行う、スムーズに寄付できるようニコニコ箱委員会（報告会員）のテーブルは固定する、遅れて出席することが分かっている場合、会員席は入り口近くを用意する。

③準備物を大切に扱う。保管状況も随時点検。

④例会の進行を妨げるような私語に対して注意を促す。

⑤ソングリーダーは例会ごとに持ち回りで担当する。

⑥6月中の家庭集会開催。会場設営の手順、指揮棒の振り方、音響・映像機器の操作などを確認する。

また、6月に数回程度、早めに例会に集合し、前年度SAAの活動から学ぶ。

3. 予算100,000円

(委員会費・新会員関係費・看板費)

【プログラム委員会】

委員長) 葉山稔洋 副) 戸高克彦

委員) 愛甲康・岡啓嗣郎・宮原和広

1. 方針

次年度延岡会長の基本方針に沿う様にプログラム委員会からの「贈り物」をなるべく早めにお渡し致しますのでお受取りください。

2. 計画

①外卓話・新会員卓話・内部（月間）卓話の実施
特に新会員卓話を早期実施

②毎週水曜日に会長、幹事、事務局と打合せを行う。1カ月前のプログラムを詰めていくため、1分以上の時間を要する方は、水曜日までに連絡をお願い致します。

③進行は、毎月当番で担当する

(担当者が欠席の場合は委員長)

7月戸高会員、8月愛甲会員、9月岡会員、
10月宮原会員、11月戸高会員、12月愛甲会員、

1月岡会員、2月宮原会員、3月戸高会員、

4月愛甲会員、5月岡会員、6月宮原会員

3. 予算40,000円 (外部卓話記念品)

【ニコニコ箱委員会】

委員長) 永尾禎規 副) 山田仁法

委員) 岩本泰典・板井英朗・丸尾孜

1. 方針

・今年度のスマイル目標を150万円とする。

・スマイルの必要性を会員全員が意識しニコニコに心良く協力していただけるようお願いをする。

・スマイル委員のテーブルを明確にする。

2. 計画

①全員スマイルは年6回とする。

第一例会、納涼家族会、忘年会、新年会、
RI 創立記念日、クラブ創立記念日



②会員の結婚祝、誕生祝は、各1,000円のスマイルをお願いします。

③無断欠席の場合は、自主的にごめんねカードをお願いします。

④早朝例会欠席者は1,000円のごめんねカードをお願いします。

⑤発表は交替で担当する。

3. 予算35,000円

(委員会費・ビジターへの記念品)

【出席委員会】

委員長) 漆野智康 副) 大久保勝人

委員) 尾上暢浩・小林祐介・平田フク

1. 方針

出席率の向上はもちろんのこと、例年問題となっている無届出席をなくすよう周知徹底する。

2. 計画

①出席率向上のため、関係委員会が連携し取り組んでいく。

→方法として、会報誌に今後の例会予定等を掲載してもらう。メーキャップの励行
(特にローターアクト)

②無届欠席の問題→食事代などの経費削減にもつながるので、会員皆さんに周知していく

3. 予算60,000円

(出席率100%達成者表彰・委員会費)

【会員組織増強委員会】

委員長) 北昌二郎 副) 中島博之

委員) 伊久美寛志・浦田繁喜・岩井和彦

1. 方針

会員増強維持活動をロータリーの永遠のテーマとして、取り組んでまいります。また、会員増強と会員維持を活動の中心として、“楽しくなければロータリーではない”を委員会テーマとして活動してまいります。

2. 計画

①増強目標→昨年同様70名の目標

②会員維持活動→魔の6月「退会防止月間」

③新会員教育→DVD「ようこそロータリーへ」の活用

④会員維持推進事業→女性だけの交流会(奥さまの理解が必要)

⑤会員増強ゴルフコンペの開催 奉仕プロジェクトの連携

- ⑥ 8月会員増強月間→見込み者リストの作成
→同伴例会
3. 予算10,000円（委員会費）

【職業分類委員会】

委員長) 川越公弘 副) 齊藤日早子
委員) 堤正博・外山博之・山口令二

1. 方針

会員資格に関する職業分類の原則は、クラブ組織と維持発展のための基盤である。この主旨を十分に認識し、委員会合意のもとにクラブ組織のために運営する。

2. 計画

- ①職業分類調査及び職業分類表を時代に見合ったものに整備する。
- ②被推薦者が職業分類の資格条件を満たしているかどうか、決定するに当たっては理事会と協議する。
- ③全員選考委員会と連携し、全員で全員組織増強委員会に協力する。
- ④職業分類表の追加・変更についても理事会に諮り、随時検討、修正していく。

3. 予算10,000円（委員会費）

【会員選考委員会】

委員長) 堤 脩 副) 小林清市
委員) 釜田元嘉・武末憲一・高山征治

1. 方針

理事会から要請を受けたとき、被推薦者の会員としての資格条件を、個人的な面から検討し其の人格、職業上および社会的地位、並びに一般的な適格性を調査し、理事会へ報告する。

2. 計画

- ①厳正公正な選考を行う
- ②職業分類委員会と連携をとり、関連職業分類の既存会員の意見も参考にして判断する
- ③理事会の要請の都度、委員会を開催し、其の結果を速やかに理事会へ報告する
- ④ 家庭集会は関連委員会と相談し、出来れば合同で実施したい

3. 予算7,000円（委員会費）

【クラブ広報委員会】

委員長) 塚本哲也 副) 村田武澄
委員) 大賀陸朗・下田文仁・友永和宏

1. 方針

人吉ロータリークラブの公共イメージと認知度の向上のため、当クラブの活動や役割の広報をしていきます。また人吉ロータリークラブへの理解が深まるような広報活動を通して地域社会の支持を更に得られるような活動を目指します。

2. 計画

- ①主要行事や活動等の広報
(人吉新聞、ホームページ、フェイスブック)
- ②ロータリーデー
(知的障害者陸上競技会の広報)
- ③雑誌委員会との連携

(ロータリーの友への投稿)

- ④タイムリーなホームページの更新と会員によるフェイスブックの投稿などで新しい情報の収集を図る。

⑤表敬訪問

3. 予算212,000円

(報道機関広告費・ホームページ管理費)

【雑誌委員会】

委員長) 竹長一幸 副) 渡辺洋文
委員) 有村隆徳・堀川匠太・安方晃

1. 方針

ロータリーの公式雑誌「ロータリーの友」の紹介を通して、世界中のロータリアンの活動を理解するとともに、奉仕の精神のさらなる理解深化を推進する。

2. 計画

- ①毎月発行される「ロータリーの友」について、会員に関心を持ってもらえるよう記事の内容を紹介する。(委員の他に、入会3年未満の会員を紹介者とする。)
 - ②ロータリアンだけではなく購読者にロータリー活動を広く認識していただくために、公共的な場所に「ロータリーの友」を配布する。
 - ③関係の委員会と連携し、広報宣伝活動を行う。
3. 予算10,000円（委員会費）

【クラブ会報委員会】

委員長) 青木一幸 副) 村山能史
委員) 山賀勝彦・大野啓介・増田力

1. 方針

- ①週報の確実な発行を通じ、ロータリー活動への関心を醸成し参加向上を図る。
- ②近づく例会のプログラムおよび前回例会の重要事項を報告する。
- ③上記を通じて、会員のロータリー活動全般に亘る認識理解の涵養を図る。

2. 計画

- ①巻頭に目次を入れ、見やすく分かりやすい週報とする。
- ②委員メンバー全員がR情報を通読し、会員に喧伝するのが望ましいと思われる記事があれば、適宜、各メンバーが事務局に連絡し週報に掲載する。
- ③すでに決定している向こう3か月の例会のスケジュール等、主要プログラムや行事について週報に掲載することで、会員への周知徹底および参加率向上を図る。

3. 予算390,000円

(会報ファイル・クラブ会報印刷・電池)

閉 会